



任意団体 大阪海さくら

## 音楽とごみ拾いで繋ぐ、 大阪湾のアマモと 子どもたち『大阪海さくら』

集めたごみの量 **456袋** アマモの里親件数 **180件**

活動の全体目標に  
対する達成度 **90%**

一般助成

3年目

知識の提供・  
普及啓発

### 課題

“海のゆりかご”アマモは、海にとって食物連鎖の底辺であり、酸素を出し続け海水の浄化もしていた。しかし、1960年代からはアマモの藻場の90%が消滅した。

### 目標

- ごみ拾い参加者数の増加を目指す。
- 大阪海さくら主催イベントの入場者数のアップ。
- アマモ育成キットの毎年300セット配布。

### 活動内容

大阪湾の沿岸において、持続的な海洋生物の保全を目的として、アマモ場を保全するため、アマモの移植活動を行う。また、本地域のアマモ場及び、海洋生物の保全の目的で、大阪湾沿岸及び、淀川河口流域の清掃活動を行う。また、一般市民に対して、アマモの現状や重要性を普及啓発するために音楽イベントやエンターテインメントイベントを開催する。小中学校や地域住民を対象として、環境学習の実施を呼びかける。



せんなん里海さくらフェス

### 達成できなかったこと

毎月のごみ拾いの参加人数を増やすことができなかった。原因としては、WEBやチラシでの告知に頼りすぎたことに起因すると考えている。

### 今後の展望

主催イベントのチケットや関連グッズの売上げによって、今後の活動総額の30%を確保するようにする。また、NPO団体として登記することにより、より行政や他の外部機関との協働をし、資金確保につなげる。

## 成果と工夫した ポイント



### 成果

音楽イベントや小学校への環境授業を開催した。これらの活動により、音楽イベント関連で、延べ2,000人以上の方々へ、環境授業で300人以上の児童に、大阪湾の現状や環境について知ってもらうことができた。

### 工夫

地元の団体とより協力してイベントを開催することにより、前年の倍以上の来場者となった。